高校阿倍野新聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南町
大阪府立
阿倍野高等学校
新聞部
編集発行人　板橋軍児

# 待望のプール竣工

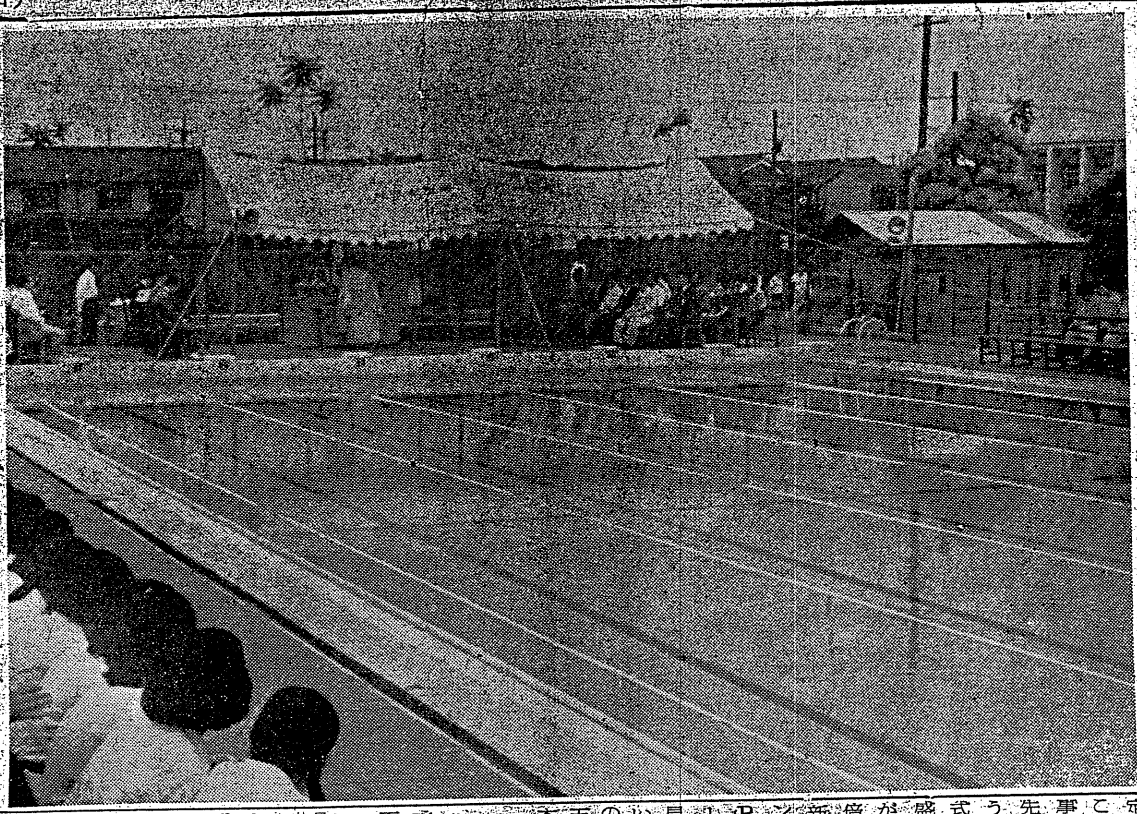
## —総工費三百五十余万—

かねてより全阿倍高生始め各方面からその完成を期待されていたプールはP・T・Aや先生方、先輩諸氏の御努力の結果、去る七月二十六日わずか四十日余りの突貫工事を敢行して遂に完成し無事竣工式を終えた。縦二十五米、横十三米、三百五十立方米の水をたゝえたこのプールは今後いつまでも阿倍高生に楽しい夏を過ごさせてくれるだろう。

戦後新教育制度が施かれて以来この十三年間阿倍高にも体育館図書館等が続々完成され設備は充実を重ねて来たが今一つこゝに夏のスポーツセンター、プールの建設が話題になってきた。P・T・A始め体育関係の先生方がこの問題に乗り出したのは今年に入ってからではない。長期間にわたる御努力　御尽力これが今年の夏遂に実を結んだのだ。五月のP・T・A総会にプール建設案が提出されるや否や即時可決。次の総会でプール建設委員が誕生すると云う即決ぶり。

建設委員長はP・T・A会長の曽川氏。計画はその後着々と進められ六月二十八日には地鎮祭　十八日着工。しかし折から雨期に入った為、工事は少々遅れたが大体予定通り七月二十六日見事竣工したこの間わずか四十日余り　全く工事関係者の方々始めP・T・A先生方の熱心な御尽力の賜物と云う他はない。七月二十八日の竣工式には多数の名士が参加され甚だ盛大であった。続いてプール開きがこれ又にぎやかに行われた。阿倍野警察署長　同消防署長　毎日新聞社スポーツ部の田村氏（オリンピック平泳選手）等を招き先づP・T・Aから学校側へのこのプールの贈呈式に始った。田村氏が見事な古式泳法を披露されると青い水に拍手の波がわたって行く夏のすがすがしい情景だ。ついで天理大学からはるばる来られた日本記録保持者たる宮部シズエさん（バタフライ）加藤ヨシコさん（クロール）坪井幸子さん（バック）高松好子さん（平泳）ら方々が初泳ぎ　余興として本校対天理大の対抗リレーも行われた。

この勝負惜しい（？）ところで負けてしまったがプールをとりまく顔はプール完成の喜びにはち切れんばかりだった。〝我々阿倍高生一同心からこのプール完成に力を注いで下さった方々に感謝いたします〟この生徒代表の感謝の言葉を我々は忘れたくないものだ。そして水上日本の国民として〝泳ぐ〟事をこのプールから体得したいものである。



（写真はプール竣工式）

## 完成の喜び

### 学校長　赤間一夫

待望のプールは遂に立派に完成した。諸君と共に喜びにたえない。毎日、男子も女子も各々嬉々として泳いでいる。私は最初生徒諸君が果して此のプールを充分利用するや否やといささか不安を持って居た、何分都会の真中で水に親しむ機会の無い生徒達の事だから。プール竣工式に私が真先に飛込んだのは、ともすれば引込み勝な水に馴れない生徒達に活を入れ、之を利用せしめん為に外ならなかった。完成以来早や一ケ月ばかり経ったが、生徒の練習状況を眺めてその盛観と進歩の著しいのには驚いた。思うに私は九州の海浜の片田舎に小学生時代を過した。夏になると学校では二回の遠泳テストがあって、私は何時もトップを切って合格した。相手もいらず、何時でも短時間にしかも全身鍛練の出来る水泳はスポーツの最高のものだと私は思っている。何卒諸君も、此の様な立派なプールの完成を好機に、精々水に親しんで一人残らず泳げる様になり、健康な心身の鍛練に努められん事を念願致します。

### PTA会長　曽川勝太郎

本校歴代のP・T・Aが望んでやまなかった〝プール建設〟が前年度より云われておりましたのが本年度最初の総会でプール建設委員会が設置せられ、爾来きわめて短期間の内に竣工となったのであります。

その間、学校関係者各位の好意に満ちた御声援、職員各位の寄附、数年前よりの会長や役員の方々の御協力、熱意ある父兄各位の御協力、同窓会の御支持等が一丸となったものであり、私達一同心より感謝いたしております。又直接工事にあたり、精密な設計を懇切に指導して下さった天理大の森先生、良心的に快く工事を請負って下さった上棟建設株式会社の方々、監督と指導にあたられた奥村、城所、富治の各氏らの御協力によりこゝに見事に竣工できたのであります。こゝに謹んで深甚の感謝の誠意を表し、喜びの言葉とする次第であります。

### 自治会々長　堀口睦子

去る七月二十八日この立派なプールの竣工式が華々しく行われたゞ感謝の気持でいっぱいであります。

我が校のスポーツ界で只一つ遺憾なことは、プール無き故に〝水上阿倍野〟の名声をあげる事が出来なかった事でありました。そして私達阿倍高生は「我が校にもプールが欲しい」の願望を常に抱いていたのでありま す。しかし今やその宿望は完全に達せられました。

私も一年生の時からいつプールが出来るのかと思って参りましたが丁度私が自治会々長の時に完成した事は実に私にとってうれしい思い出の一つになる事と思っております。又私がいつも思っているのですがいつも体育の先生方が熱心に指導して下さる事は誠に有難い事だと思っています。

又来年からは住吉、阿倍野総合体育大会にも水泳が加わる可能性深まり、水泳部の皆さんは大変はり切っていられる事でしょう。水泳部の部員の方々は勿論、全生徒がすばらしく上達する様な気がします。実際、水泳の練習は一生の内高校時代が一番適切だと思われます。我々が今水泳を習うことの出来るのは実に幸福と云わねばなりません　この立派なプールで毎日熱心に御指導して下さっているのです から必ずや〝水上阿倍野〟はいうに及ばず〝水上日本〟の未来を背うべき選手が一人でも多く育成される事を夢みながら我が阿倍野体育の向上発展の為に満身の努力を払う決意を新たにするものであります。

### 水泳部々長　根木一郎

待望のプールが出来上って我々水泳部としては誠に嬉しい。とこう云えば甚だ簡単であるがこのプールはどうしてどうしてそう簡単に出来上ったのではない　幾年も前から先生方又PTAの方々の並々ならぬ御苦心や多大の犠牲が積み重なってやっと出来上ったのである。水泳部は元より全校生徒がこれらの方々に対し感謝せねばならない次第である。今まで水泳部は隣接住高のプールで泳がせて貰っていた始末であった。住高の人達は何等の[illegible]なく心よく泳がせて下さって[illegible]感謝の外はないのであるが、我々としては何んとなく気兼があった。ところが今度このプールが出来て水泳部も気兼なく泳げるから[illegible]喜んでおります。この機会に住高の[illegible]御好意に対し厚く御礼申し上げます。プールは庭前の景色ではなく運動場である[illegible]ます。又水泳は[illegible]運動の中でも凡ての筋肉[illegible]最も[illegible]良い運動である。[illegible]して世界に誇り得る[illegible]技であることは御承知の通りであります。我々のためにこのプールを作って下さった皆々様の御心労は申すまでもなくこゝに要した費用は巨額にのぼったのです から私共全生徒がこの夏の運動場を最も有効に利用して、健全なる身体を作り、新らたに増える水泳部員と共に技能を練磨し阿倍高の水泳部として全国に名を上げるよう努力してこそ御世話下さった方々に酬いる所以であると思っています。

## 論説

## 応援団の組織化にあたって

野球の応援が毎年活発になってきて、ようやく今年その組織化が成り、応援団の未来を明るいものにした。

この応援団組織化に当って、応援団の改めるべきことや、協力者の態度などを反省し、来年からはより良い応援団を作ってほしい。

まず毎年めだつことだが、参加者が大変少ない事だ。

応援に参加もしないで、野球部が弱いだとか強いというのは止めてほしい。だからといって家事の手伝までほっといて来いというのではない。

本校は応援しない者は、家事の手伝いの為とかそれに似た理由で参加しない者はごくわずかで、あとは皆あほらしいという気持の者だろう。

学校側も、応援の為に補習を打切らない理由もそこにある。

要するに補習を取り止めた場合、大多数の者は家へ帰ってしまうだろう。それならば学校側の意向とずいぶん違ったものになってくるこの様な理由から、学校側も補習を打切らないのだ。

もっと参加者が多く、まじめな協力ぶりだったら、学校側も決して黙ってはいまい。今年の場合だが応援の練習がある日、はたして集まったのは何人だったろうか。

なお悪い事は男子が全然姿を見せなかった。諸君は阿倍高は女学校ではないと言って置き乍ら応援は女子にまかすというのか。とんでもない心根だ。

諸君は自治会や、応援団の苦労が分らないのか　今年からは組織化がなったので、応援団はもちろん、自治会も大はりきりだった。にもかゝわらずあの集会ぶりでは気落ちするのは当然だ。そう言っても自治会の伝達が不徹底だったというのは逃口上にすぎない。野球があれば応援が必ずあるのだ。もっと諸君らの力で自治会あるいは応援団をおしまくらなければいけない。そうすれば自と応援団はすばらしくなっていくだろう。

それから弥次の点であるが、毎年に聞いていて、下品さがまるだしだった。弥次をとばしている者は別に悪い気はしないのだろうが、一般見物者はそれを聞いてどうとるだろうか。あの学校は元気がいゝなと誰が思ってくれるだろう、大低下品だなと悪い感じを与えるとそれだけ本校に対して受けた感じは、想像しただけでも、嫌なものである。

先輩達はもっと、上品な態度をしてほしかった。参加してくださった気持は高く買うが、あれでは台なしだ。がこゝで、応援団の無気力が問題となってくる。この場合先輩に対して、注意らしき物は一つもされなかった。敬意を表してだったのだろうが、それならいらぬ遠慮だ。やはり皆をリードしてかも知れない。それから弱さが表われていたのは、何といっても応援練習の日だろう。

参加しない者も悪いが、応援団、自治会の態度は非常に緩漫だったようだ。あの際自治会が練習を行なうと伝達してから、何をしたゞろうか。言いっぱなしであった様に思うが、それでは帰りたくもなろう。もっと綿密な計画を立てゝ皆を集めなければ、いつまでたっても集まらないだろう。また、応援団は野球が始まるぎりぎりの時間に球場にかけつけたりした。あれは実に腹立たしいものを感じた

最後にとりまとめていえば、応援にもっと積極的に参加すること。決して汚ない弥次はとばさないこと、自治会、応援団はもっと自主性を持ち、責任ある態度で応援団をリードしていってほしい。

## 行事予定

| | |
|---|---|
| 九月　二日 | 始業式 |
| 九日 | 講習開始 |
| 十日 | 一、二年宿題考査 |
| 十一日 | 自治会選挙演説 |
| 十四日 | 第二回自治会選挙演説、投票 |
| 十八日 | 自治会役員交代式 |

## 十四日に投票

自治会後期役員の改選は九月十日に第一回、十三日に第二回立候補締切、十一日に第一回立合演説会十四日に第二回立会演説会および投票が行われる。

## —就職見通し—

## 欠席、遅刻も考慮

今年も夏休みに入ると例年どおり各企業の早い所では、就職試験が始まり、すでに銀行、生命保険会社等に十八人（八月三十日現在）の就職決定者を出している。毎年のことではあるが有名会社へ求職者が集まるのでどうも難しいものだと関係者はいっている。

そこで本校就職指導係の渡辺先生に今年の見通し等についてうかゞってみた。

今年の就職の見通しは、経済界の関係で、就職率は今のところ去年程よくはないようである。男子にくらべると女子の方はある一定の年令になるとやめる人が多いのでほゞ例年並とみなされるが就職応募者は市内のみならず、他府県より多数侵入する情勢が強く現われだし、就職試験は相当激烈なものと思われる。早いところでは六月頃から求人が開始され、すでに七月末までにも採用決定（内定を含む）された人が生命保険会社（五名）、商事会社（一名）、信託銀行（一名）ある情況。しかしこれからは、どしどし増えるはずである。目下、銀行、会社等就職試験が開始されている。特に女子の方は、商事会社が多く銀行は帰宅が遅くなるという理由をもって、案じている人もあ[illegible]が特殊銀行等は四時に終るの[illegible]漠然とした世間のうわさだけ[illegible]用したりしない方がよいと言[illegible]受験希望者は学業成績がよ[illegible]ということはもちろんのこと家庭教育なども又十分考慮される。

今年の傾向は

一、成績優秀
一、人格円満
一、明朗な人
一、珠算、習書がたん能な人

等である。担当者の意見としては「いうまでもなく、人柄、教養というものが大事な決定をするものであるから、常日頃からそのつもりで、教養を高めてほしい。又あまり欠席、遅刻をしない方がよい特に遅刻を。」との事である。

## 強豪寝屋川に敗る

## 岡本投手14三振を奪う—対四条畷

—全国高校野球大阪府予選—

三回戦

緑の芝生に純白のユニホーム、白球が乱れ飛び、歓声がわく——第三十九回全国高校野球選手権大会大阪府予選は去る七月二十日より藤井寺、日生、中モズの三球場で熱戦の幕を開いた。全参加校九十八校と昨年より[illegible]たに二校が加わり、本校野球部も今年から組織された応援団に[illegible]守られて球場をわかせた。昨年、一昨年とベスト8に名を連ねたので今年もと思われたが、四条畷、浪速を破るも及ばず第三回戦でクジ運悪くも強豪寝屋川に相対し4—0とシャットアウトに退けられ甲子園出場の夢は今年も遂げることが出来なかった。同大会の試合成績は以下の通り。

**第一回戦**　於中モズ球場

四条畷　000000000=0
阿倍野　00010000×=1

バッテリー
（四）中山—小松
（阿）岡本—斎藤、原田

◉：試合前の予想では両校互角の勝負になるだろうと言われていたとおり、一点差を争うシーソーゲームを展開した。まず阿倍野四回の裏に先頭打者金山君が左翼手の頭上を抜く大二塁打を打ち、バントで三進、続く打者森田君の打ったボールがややつまった当りではあったが幸運にもセンター前にポツンと落ちる安打で金山君三塁より生還、先制の一点を入れこれが決勝の一点となった。

岡本投手は四条畷の打線をわずか二安打の散発を許したのみで三振十四個を奪う好投ぶりを見せ、四条畷を完封した。

**第二回戦**　於中モズ球場

浪速　000000000=0
阿倍野　0000[illegible]00×=1

バッテリー
（浪速）図師—津田
（阿倍）岡本、大野—斎藤、原田

◉：第二回戦も一点差を守りぬいて浪速をシャットアウトに退けた。阿倍野は有利に試合を進めたが、浪速の以外な健闘で互角の争いとなった。阿倍野四回裏の一死後二盗と相手捕手の悪投で三進したが浪速の以外なかくし球でアウト、一瞬ポカンとした金山君、見ていた応援団も何かキツネに化かされた表情だった。

しかし六回裏先頭打者森君の四球、バントで二進、さらに三盗の時相手捕手の暴投で待望の一点をあげた。六回より岡本投手をリリーフした大野投手はやや不調ではあったが七回以後得意のドロップと直球で浪速打線を封じて無得点におさえた。

**第三回戦**　於藤井寺球場

阿倍野　000000000=0
寝屋川　20000200×=4

バッテリー
（阿）岡本、大野—斎藤、原田
（寝）島崎—平川

◉：甲子園出場の経験を持つだけに寝屋川の一方的な勝利となった。

寝屋川は一回早くも岡本投手の立上りをせめ二点を奪った。

これに対し阿倍野は寝屋川のエース島崎投手の頭脳的な投球におさえられてわずか四安打の散発を打ったのみの全く元気がなかった。わずかに三回表二死満塁の絶好のチャンスもここ一発という決定打がなく、しかも上位打線の不振で全然打てなかったのが勝敗のカギであったと思われる。

しかも四回より代わった大野投手からも六回にダメ押点ともおぼしき二点を加点されて勝敗は決した。

力投する岡本投手

## 四時間の大接戦　硬庭

◇全日大会

八月一日より中モズ・コートで行われた全日大会に於て大阪代表の一人として大西喜三郎（三ノ三）君が男子単で出場し、府民大会での優勝者の貫録を見せてくれると期待していたが四国のNO・1を誇る渡辺（愛媛県松山南高）と延々四時間に渡る大接戦を演じたが健闘空しく敗れ去った。

第一回戦
大西　7—9　4—6　渡辺（愛媛）

◇府民大会

八月十三日より同じく中モズコートで行われた府民大会一年の部では本校からダブルスに郷上・岩尾組が出場し見事第二位に入賞して今後大いに期待をよせられている

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第一回戦 | 郷上・岩尾 | 6—0　6—0 | 茨木高 |
| 第二回戦 | 郷上・岩尾 | 1—4　4—6　7—5 | 追手門高 |
| 第三回戦 | 郷上・岩尾 | 6—4　6—3 | 三国ケ丘高 |
| 第四回戦 | 郷上・岩尾 | 6—3　7—5 | 扇町高 |
| 準決勝 | 郷上・岩尾 | 8—6　6—4 | 山本高 |
| 決勝戦 | 郷上・岩尾 | 1—6　0—6 | 春日高 |

## 二回戦で惜敗　卓球

全日大会

大阪代表として推薦された本校卓球部のホープの浜武子（三ノ七）さんは山形県酒田で行われた全国高校卓球選手権大会に出場され全国の精鋭どもと闘われたが二回戦で実践高（鹿児島）に敗れ去った。何といっても大阪の卓球のレベルが低いという事が今まであまりよい成績が[illegible]かった原因だろう。しかしコンディションは悪くなく普通であったとの事、又実力を充分発揮された事は喜ばしい事である。今後は卓球界に阿倍高の名を広めてもらいたいものであるなお成績は次の通り

第一回戦
浜　2—1　土佐女高
第二回戦
浜　0—2　実践高

## 部告

### 一、二年部員募集

一、男女、経験不問
一、取[illegible]、校正、編集、整理、庶務
申込は部室又は最寄の部員まで

## 男子排球　一回戦で敗る

全日大会

去る六月二十三日より、地方予選大阪府大会において本校男子排球部は決勝に京阪高を2—0のストレートで取り優勝、晴れの大阪府代表に決って去る八月一日から全国各都道府県の予選を勝抜いた五十一校の代表チームが仙台市に参集して健やかに優美な球技の全日本高校男子バレーボール選手権大会に出場した。試合は予選トーナメントに乾徳高（福井）を降し、決勝トーナメント第一回戦に高知県代表高知高に2—1で敗れ、この日はるばる応援に赤間校長、竹内先生らがかけつけるも及ばず戦闘むなしく高知高の前に敗れ去った。以下は全日大会における本校の成績。

▽予選（9—21）
阿倍野　2（21—16　21—17）1　乾徳高

▽決勝
一回戦
阿倍野　1（17—21　17—21　21—18）2　高知高

## 国体大阪府予選ソフト部

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一回戦 | 本校 | 4—1 | 旭高 |
| 二回戦 | 本校 | 4—3 | 和泉高 |
| 三回戦 | 本校 | 5—4 | 泉大津高 |
| 四回戦 | 本校 | 0—1 | 八尾高 |

なおこの大会においてベスト8にランクされた。

## 就職決定者（第一報）

今年も就職試験は、休暇中に開始されすでに日本生命、住友商事、住友生命、住友銀行等男子一名女子十七名計十八名の就職決定者を出している。就職決定者は次の通り（敬称略、八月三十日現在）

| | |
|---|---|
| 住友生命 | 黒越寿子①、中浜和子③、上田啓子④、渡部芙紗子⑥、永松節子⑦ |
| 大阪ガス | 松田秀子③ |
| 野村証券 | 勝山伸子② |
| 日本勧業銀行 | 大平偕子④ |
| 住友信託 | 野村高子⑦ |
| 日商KK | 松村節子⑥ |
| 住友商事 | 田中喜美子⑦ |
| 住友銀行 | 木野道子①、香川悦子④、牧田広子⑥、滝紀子⑦、竹橋和子⑦ |
| 住友倉庫 | 堀田光世⑨ |
| 日本生命 | 奥田信昭③ |

## 伊予本先生の御母堂逝去さる

本校教頭伊予本先生の御母堂はるさんは七十七歳の長寿を全うされ去る八月二十二日自宅で逝去された。

## 管理委員長に

### 神吉君（二ノ三）

三十二年度後期自治会役員改選にさきだって選挙管理委員会が去る七月の議会において正式に結成され、議員の推薦により二年三組の神吉務君（代表議員）が選挙管理委員長に任命され、就任した。副委員長には二年三組の板橋軍児君が又委員は各組の議員がなることになっている。なお立候補者は委員長並びに各管理委員まで届出されるように望んでいる。

## 針の穴

ご無沙汰いたしました。長い暑中休暇も終りガンバリましょう▼今年の夏は格別暑かったですなとは毎年のこと▼待望のプール完成何回泳ぎに来ました？何しろ体育の点数に入（？）というのだから▼プールが出来ると学校側もいっぺんに熱心になりますナ先生方もご苦労なこと▼完成一ケ月で盗難続出とのこと▼全生徒が泳げるようにするのが目的だそうですがあのプールじゃおぼれませんナ何せ一米十そこそこ▼二学期からは水泳が正課に入るとかいやはやカナヅチ組の諸君同情しますよ▼九月からとはちと寒かろうがマア風邪の召さぬよう御注意まで▼今年の応援団結成、見事な（？）応援ぶりでした、諸君講習さぼって熱心に応援に行かれた諸君もさぞ残念でしょう、三回戦で敗けるとは▼それにしても色メガネ、下駄ばきアロハシャツの応援はいただけませんナ▼阿倍高生は上品なはづですぞ▼夏の運動クラブどことも不景気（？）金融ひきしめでもあるまいに▼男子バレー晴れの大阪代表となって仙台まで行ったのはよかったが▼二回戦でコロリとは校長先生まで見に行かれたのにトホホ……▼ソフトも大阪府予選のベスト8に残るのが精一杯とはネ▼往年の阿倍高のスポーツ界に占めた誇りが泣きますよ▼二学期が始まると恒例（？）の宿題考査という奴、全くいやですナ夏休み末に走り回ってやっと写したらハイ試験、赤ん坊の手をねじるようなものですよ▼これさえなければこの世は天国といったところ▼今年は宿題対策がオートメーション化したとか、分業で手際よくやってる向きもあるらしい▼三年生の方々、関ケ原の合戦はもうすぐですぞ▼〝大学〟この二字が夢にも出てくるでしょうナ▼冬の陣に備えて予備校大はやり有名校では予備校の入学試験まであるとは正しく試験地獄▼学制を変えて六、三、β、三、α、四としては？▼後期役員改選、今度の立候補は量よりも質を願いましょう▼男子の方々よろしいか。前期はたった一人▼……確固不動の意気をもち、理想の海に船出せん〟と我こそ阿倍高発展のため力をつくすという情熱的なの多からん事、穴子一同望みたい▼実りの秋、食欲の秋、勉強の方も忘れずに念のため▼楽あれば苦あり、苦あれば楽あり、試験あれば休みあり、休みあれば試験あり、これが全て自然の原理というものか。

阿倍高生憩いの場所
カレーライス　ハイシライス
うどん　菓子　その他
校内食堂
みのわ

評判の良い
調剤、各種薬品、化粧品
かもん薬局
阪南町西二ノ三八
アベノ区役所西二丁
電話(66)七三二一

雑誌・書籍・参考書
アカネ書店
阪大南校北
電話(66)9273

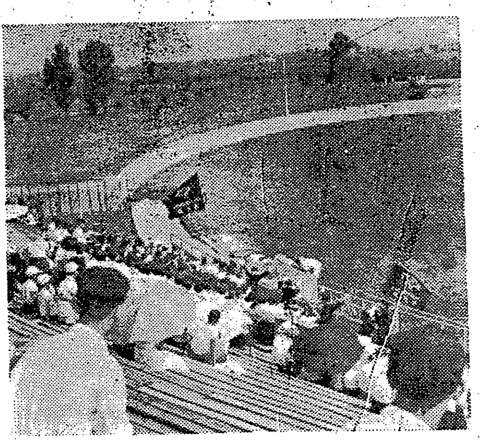
文房具全般
山本清文堂
本校西側
電話(66)二五九八

## 座談会　今年の応援団を顧みて

## 生徒の積極的参加を要望

### ブラス・バンドも必要

全国高等学校野球選手権大会の大阪府予選の出場につれて始めて応援団なるのが結成され、中百舌鳥、藤井寺球場に応援合戦を展開し又その成果も大なるものであった。そこで自治会側応援団側、本紙側からの各々の立場で始めて結成された応援団を顧みて八月七日自治会室において座談会を行ってみた。



**出席者**
岡村　太郎（応援団側）
津田誉至雄（〃　）
堀口　睦子（自治会側）
板橋　軍児（本紙側）
**司会**
天野　秀彦

司会—今年初めて応援団が組織されましたがその成り行き

堀口—今まで自治会が全然タッチせず生徒がかってにやってたのですが、これからは集会部が中心となりやっていきたいと思ってます。

岡村—やはり自治会の応援なしではやりにくいですネ。

司会—今までのというのは

岡村—昨年は強制的に参加を頼んだりしたが今年はなく、又これからもそうしたい。それには二年生が中心にならんとなあ—。

板橋—昨年より今年の方が全体的に上手になってますネ。

岡村—後の方（対寝屋川戦）になって良くなって来たと思う

司会—今年の応援についての苦心談といったものは

堀口—生徒が一度に集ってくれないこと、だから練習も出来なかったのですが集ってもらうのに一苦労しました。

津田—僕は始めてで応援団長というのが全然わからなかったので難つかしかったナ。

岡村—雨で二日も試合中止となって電車賃を返えせなかったのはちょっと悪い気がしますね。マアスッカタナカンベサ（笑声）

板橋—講習をさぼって行ったのですがね（笑）

津田—時間通り向うへ行かれずちょっと悪い事をした。

司会—組織してよかったこと。

板橋—何んといっても選手が心丈夫でしょう。

津田—後になってくる程上手になって来てよかったですね。

岡村—最後の寝屋川戦の時は実によかった。誰も日傘などさしている者がなかった事。

堀口—見ていて感じよかったわ

岡村—津田君のどじょうすくい、あれはバカでないと出来んものやデ・（笑）

津田—いや全く。来年は一年（今の）にやってもらいたいナ

堀口—最後まで応援するというのは一番いい。たとえ負けたとしても。

司会—一番印象に残こったことは

岡村—やっぱり三回戦の寝屋川戦負けても気持よかった。

津田—僕は一回戦の時、全く練習してなかった。生徒歌も知らずに歌うのですから、しかし印象に残りました。

堀口—今年は女子の方が多かったようですね。

岡村—毎年のようです。

堀口—それだけ熱心ですか（笑）

司会—あの入場券と電車券の事はどうですか。

堀口—私が云うのは変だけどあれは非常に便利でしょう。こっちはしんどいしんどい。

岡村—全生徒が応援する意志があれば各組でまとめてするのですが、しかしそれには学年代表を利用しないと。

司会—今後の希望としては

板橋、津田—ブラス・バンドが欲しい。

津田—他校があるとちょっとひけ目を感じる。

堀口—たしかに欲しいですね。住高も持ってるのに。

岡村—僕も今二年ならば作るんだけど。しかしあればいい、住高戦の時でもいいし、野球には絶対必要です。

板橋—誰れでも欲しがってるようですヨ。

### 講習の一時中止を

司会—結局一人必要ですね。それから学校側に対しての希望は。

津田—講習をその日だけ中止して後の日にするとか。

岡村—講習とかち合うといやですね。参加者も減るし。

板橋—講習があるのがいかん（笑）

岡村—生徒が一生けんめいやれば先生も考慮してくれるでしょう。

堀口—全生徒が一致団結すれば必ず出来ますよ。

全員—学校側は講習の事を考えてもらいたい。

堀口—しかしあの黒服感じがいゝですね。

岡村、津田—やっている方はたまりませんヨ。汗が出るのがわかりますよ。

岡村—それからこちらの言うことを聞いて従って欲しい。

堀口—女子の応援団長は

板橋—堀口さんが適当でしょう。

全員—（笑）

岡村—やってみたらどうです。おもしろいですヨ。

津田—確かに一人くらい欲しい。行徳先生も言ってられた。

津田—僕はそうすきじゃなかったのですがやるとやめられんナ。

岡村—同感。僕はするのがすきだしかし他にも好きな人もいるでしょう。

司会—相手校について感じた事は

津田—一回戦の時、確かに相手が上手と見えましたネ。

岡村—やはり、練習不足。最後の寝屋川の時は誰にもひけ目をとらなかった。

板橋—北野高の後はいつも負けるのじゃないのですか。

岡村—確かにジンクスのようですね。

司会—試合についての感じた事は

岡村—勝負にこだわらず応援するというのは実にいいものです。

板橋—最後のあの立って相手をたたえる時はジーンときますね。僕はあそこが一番すきです。

堀口—試合終了後の選手の態度は実にしおらしい。

津田—試合終ってからの応援、全員よくやってくれたと思ってます。

岡村—応援の時新聞を読んでる者がいた。どうも残念だった

板橋—あの太鼓あれでは音が小さすぎませんか。

津田—はり替えるか、新しく買って欲しいですね。

司会—小旗の使用はどうですか。

岡村—あれは不必要です。拍手で十分出来ます。

板橋—高校生はやはり質素でなければネ、ユカタがけの応援どうですか。

堀口—私はあんなのきらいです。

津田—僕はあった方がいいと思いますね。

岡村—君（津田）やれよ、僕はテレクサイ。

板橋—文化祭などに応援を披露しては。

堀口—私も同感です。

岡村—校旗が持って行けたらいいのですが。気分がちがうでしょう。かざっとくだけでいいのですか

堀口—あれは学校の宝ですからね

板橋—僕は野球好きですから言うのですが他に校旗を出す事はあまりないでしょう。

堀口—あれはやはり学校行事じゃなくては出ないのです。

司会—結局、全生徒の団結と積極的に参加することが必要なのですね。それではご苦労さんでした。

---

## こけし風聞　—④—

### 温湯こけし

青森駅から奥羽本線でしばらく乗ると川部駅につく、こゝで乗り換えて終点黒石に到り、バスで三十分、森林に囲まれた寂しい温泉場が温湯（ぬるゆ）である。宿屋らしいものが二軒という近村の湯治場であるこの温泉で、木地屋が数軒、細々とこま、烟台、お盆、こ[illegible]などを売って生活している。この温泉から生れたこけしこそこけしの原型をしのばせるような素朴な形式のものであった。簡単な口の口線、棒状の胴は誰もが想像される人形の原型である。この土地にも新しい空気が流れて大正五年、盛秀太郎という工人がアイヌ模様を入れた新しい感覚のものを工夫して売り出した。彼はねぶた描きの腕によって北国の泥臭さをたゞよわす創作品を作り出した。この工人の影響をうけた一人に写真の工人、斎藤幸兵衛がある。簡単な胴の線の中に仏像をしのばせる気品は名士の名に恥じないものであったが時代の波と共に胴にダルマ絵を入れるに及んで終に流されて終った感が深い。今日は唯、彼の家であったという旧家が残っているだけで、その作品もわずかであって、温湯（ぬるゆ）温泉には盛秀太郎と他の数人の工人が相変らず細々とした生活を送りながら木地挽を続けているようである。

森田丈三

---

### 通天閣を訪ねて＝

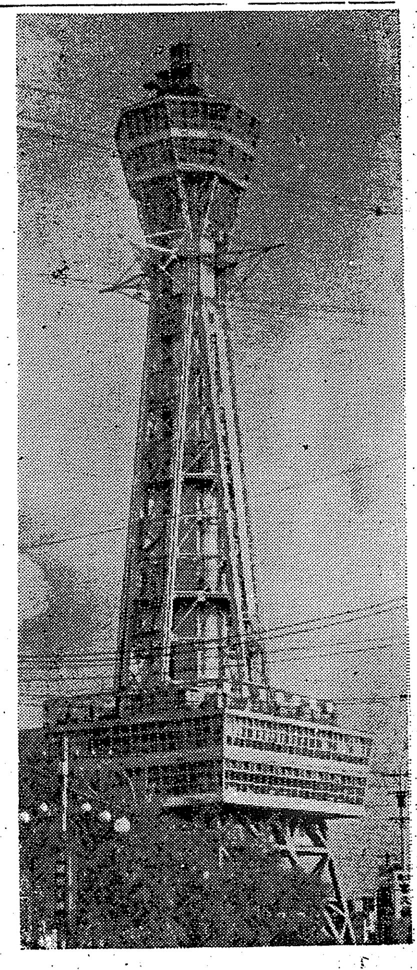
### ＝夏の

## 東洋一の大建造物

## 百万ドルの夜景を見下ろす

新世界通天閣、と云っても我々学生には耳新らしいが、之も戦前には〃大阪商人のシンボル〃として全大阪人に親しまれていたのだが、昭和十八年戦争の為解体されたのである。

そして一昨年秋、十三年降りに通天閣株式会社の手で竣工され昨年十月見事再建された。地上百米、総工費三億八千万円〃、地上より五度涼しい〃この大鉄塔を訪ねた。



偉風堂々の通天閣

世界で始めてと云う円形エレベーターで一度二階まで上り、そこから普通のエレベーターで五階、つまりテッペンの展望台に着くのであるが我々は歩いて登ることにした。途中に一ケ所中間展望室があるがこゝで一度休まぬことにはとても一気に上まで上り切れるものではない。何しろ地上百米もあるのだから。へとへとになってやっとテッペンの展望台に着いた。強い風が所々の金網から入ってくる十円入れるとシャッターが二分間だけ開いて見ていられる望遠鏡は今日も大繁昌、おばあちゃんから赤ン坊まで皆かぶりつく様に望いている。我が阿倍高は何所？と東南の方向に見当をつけると見える見える市大病院の向う側に。

この望遠鏡快晴の日なら東は生駒山の飛行塔、北は伊丹飛行場に発着する飛行機の群、夜ともなれば大阪球場にナイターを見物中の人の顔までハッキリ見えるとか、変ったところでは市大の解剖室の内部までのぞけるそうだ。この望遠鏡一日一万円稼ぐそうで今までの最高は何と四万七千円。しかし金額の点でなら二階の食堂が一日四十二万円稼いだことがあると云うから大いに肝をつぶした。

下を見ると放射状に通天閣をとりまく道路を豆粒程の人がぞろぞろと、歩くと云うより動くと云った感じ。自動車や電車の流れもさながら甲虫の行列。煙の都大阪にやはり緑の少ないのもよく解る。丁度おばあさんとその娘さんらしい二人連れが見下ろしていたのでたずねて見た。

——こゝは始めてですか——

娘さん「えゝはじめてです。やはり高い、ですね。人が蟻のよう。」

お婆さん「ほんまに、高いですね。聞いてたより。大阪が箱庭みたいですよ。」

——おばあさんは前の通天閣には登られたんでしょう——

お婆さん「えゝ登りましたけど、こないに高いことおませなんだで。百尺以上高こうなりましたやろな」

娘さん「私もおばあちゃんに連れてもって登ったんは覚えてますけど、あんまりはっきり覚えてません」

——上った気持はどうですか——

お婆さん「何や知らんけど、見下ろす足がすくみます。やッパリ高いですワ。」

といった具合。

又、三人組の腕白小僧が望遠鏡の順番を待っていたので、これにも話しかけてみた。

——何所から来たの？——

A「八尾」

——お母さんか誰かと一緒？——

B「うゝん僕等だけでや、もう二回目やで」

——家の人には云って来た？——

三人「うん」

——皆何年生？——

C「三年、同じ組やネン」

——登った気持は？——

A「何や、フーとするわ」

B「動物園が真下に見えるやろ大阪もきれいやわ」

といった具合で、通天閣上の気分は皆マンザラでもなさそう。

〃見下ろせることの満足〃我々も充分この気分を満悦した。

こゝには公衆電話、洗面所等もあり、不便は感じさせない。むろん売店はどこにでもある。こゝの売店でもアイスクリームが飛ぶ様に売れていた。望遠鏡には必ず一台に二人以上並んで順番を待っている。二分経つと〃次〃と云った具合。

十円玉をにぎった四つ五つの女の子がお父さんに抱っこされて順番を待っていたが、この前の学生達何んと三回も十円を入れたのでとうとう泣きだしてしまった。

×　×　×

### 登上者すでに百六十万

### 雨天でも日に二千人

エレベーターの前に集っている五六人のエレベーター・ガールに色々とうかゞってみた。

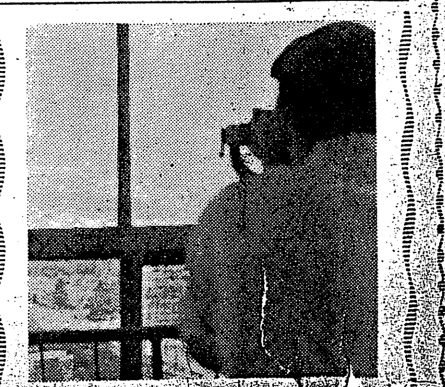
この二代目通天閣、開場以来早くも百六十余万人が地上百米のこの展望台まで昇天？して来たそうだ。天気の良い日なら八千人雨天でも二千人を上まわるそうで夏になると夕方五時からの客がぐんと増えるそうでゆかたがけの涼み客も多いとのこと。

大大阪の夜景はまさに百万ドルと云うからもっともな話だ。心斎橋や道頓堀の派手なネオン群が一望に見下ろせるんだからさぞ美しいながめだろうと想像がつくそこへこの大鉄塔が百米の大ネオンを輝かせ始めたんだから大阪の夜景も益々美しさを増したにちがいない。

何か事故は？と聞くと大した事故とはならなかったけれどもう少しでとんでもないことになる処だったとこんな話をしてくれた。四、五日前（八月八、九日）一人の酒に酔った男が金網をけったところどうしたはずみかこの金網がわくこと下に落ちた。下で赤ちゃんを抱いていた母親へ目の前に落ちてコンクリート四、五センチほど堀れました。」とのこと、又一月ほど前ガラスを手でわった人もあったそうでそのガラスが一万八千円也というしろもの。

特に月曜日にこういう事が多いそうで、日雇労務者が多いというのも面白い。とにかく高い所へ登って俗世間を見下ろすと、何んともいえぬ快感がわいてくるらしい再び四階におりて一服、二台のテレビは高校野球の真最中、こゝから円形エレベーターに乗るわけだが混雑していたのでら旋階段を下り下界に出た。やはりうだる様に暑い。通天閣本通りを帰りながら振り返ると、モダンな鉄の巨人が愛嬌のいゝ姿で見下ろしていた。

×　×　×



五階展望台より下界を望む

---

## 実地踏査記（因島）

### 歴研部・地理研部

八月十日より沢池、稲谷両顧問の引率で地理研、歴研両部員合せて十八名は因島周辺を実地踏査の為大阪駅をたった。

因島周辺と云えば水軍（海賊）のことが歴史的に良く知られている即わち、七、八世紀の遣唐使始め多くの対外交通は殆んどこの瀬戸内海を通じて行われていた。しかし、その後中央政府が弱化するに従って内海には高度の航海術をほこる海賊集団が誕生したのだ。これらは中世の末期を絶頂に十六世紀の秀吉海賊鎮圧令が発せられるまで盛んに出没した。又この辺りの海岸や島々は総べて狭く耕地に乏しいしその上、地味もやせているので農耕には全く適さず今日でも除虫菊、果樹、甘藷程度しか出来ぬのも海賊の出現にとって都合が良かったのかも知れない。

第一日目は尾道で泊った。尾道は昔、大阪、九州の航路の中間に位したので船着場として大変栄えたが今日ではその様な影もなく小さな連絡船が行き来しているだけだった。

山の頂上から瀬戸内海を望むと青々とした海のところどころに小さな島々が沢山あって、七里七島と云われるのが実感してよくわかった。

第二日目は午前中生口島の耕三寺を見学した。この寺は丁度日光東照宮の様に豪華なものだったが、これはこの寺の住職となる金本耕三氏が亡き母の冥福を祈る為巨費でこの島に建てているものだそうだ。午後は因島の造船を見学した。第三日目は因島の郷土色豊かな農村を見学してまわり、夕方六時半全員無事帰阪した。

—K—

---

## 研修旅行（甲浦）

### 生物部

我々生物部員一同は八月一日の夕暮近く天保山を出発して目指す四国甲浦（かんのうら）へと旅路を向けた。この甲浦と言う所は土地の寿美先生の話によると最近になって多くの歴史的な事柄が見い出されて、その関係者の間には少なからず題を提供している所であるとか、その他当地について詳しくお話しして頂いた。この様なお話をもとに我々生物部一同の活動が多少なり共活発になることは間違いのないことだろう

八月二日

未明の午前三時過ぎ我々生物一同は甲浦港へ到着した。船に揺られて十時間、それにも増してまだ真夜中、皆の顔は少々にぶっていた。それでも港から旅館へ着くともう今更寝る訳にもゆかず、皆まだ真暗の夜空をながめて夜明けを待った。やがて夜も明けて朝食がすんだ。いよいよ活動が始まった。或る者は山へ、或る者は海へと採集に出かけた。第一日目の採集結果はけっして悪くはなかった様だ。しかし午後になるとさすがに船の疲れや睡眠不足で少なからずまいったらしく一部を除いて皆旅館で休息を取る有様である。明日からの大いなる活動に期待を寄せて今日の幕を閉じよう。

八月三日

今日も朝からすっきりと晴れ渡った空の下で各班の活動が始まった。昆虫、植物類は山へ採集に、解剖班飼育班は磯採集で昨日を上回る成果が上がった様である。貝類では一見同種と思われるものでも大変形の変ったものや色の美しいものが多くとれた。夜になって娯楽を兼ねて夜釣に行った。収獲としてはサバ、アジ、イシモチ等平凡な物だけだが一応アルコールにつけて持ち帰ることにした。今日一日事もなく活動出来た事を感謝して全員床についた。

八月四日

一日中ゆっくり採集出来るのは今日が最後であるので以前からの予定通り室戸岬方面への採集を企てた。途中のバス道は殺人道路と名を打たれた通り全く断崖と急カーブの連続である。それも約二時間で室戸岬に到着し、全員で灯台を見学に行ったが『本日見学禁止』のさげ札には一同がっかりであった。そこからは各班に分かれて行動をとったので全体の活動は印せないが旅館に帰って各班の成果を聞いてみると大いに好成績であるのに驚いた。植物ではハマユウズイモ、タマシダ等その他数種、昆虫はナガサキアゲハ、モンキアゲハと南方系のタマムシを一頭、磯生物では名前は詳しく聞かなかったが多くの珍品を得た事は事実である。

八月五日

早やここへ来て四日目今日が最後の日である。その最後を飾ろうと役場のお世話で一部を除いて島めぐりを兼ねた海の採集を行った。そうこうしている内に午後になり空模様がくずれて残り少ない時間の採集が不能になった。が、そうもしておれず帰る用意をぼつぼつ始めたのは良いのだが、余りに多い採集物に一時は茫然とする有様だ。その整理もやっと終ったのが九時前すぐに乗船時間である。これでこの甲浦になごりをおしんで帰路へとついた。

—H—

---

## 校外トピックス

### 学生版百人一首

●春の日の夢ばかりなる手枕に声たててじゃべる教師こそ憎けれ

●君が為授業に出でて代返する我が衣手に災難はふりつつ。

●鳴りぬれば食えるものとは知りながらなおうらめしき三時間目かな

### 我等に金を与えよ

広島県H高で校内世論調査をした所「貴方は今何を欲したがっているか？」の質問に対して一番多かったのが「我等に金を与えよ、しからずんばガール・フレンドを与えよ」であった由。

### 世はオートメーション時代

夏休みも終りに近い大阪A校での話、まだ授業も始まらないのに連日朝からノートを持った学生が二、三十人やってくる。何んと日直の先生が覗いてみると教室で宿題講座？をやっているとか、あきれた先生聞いてみると講師曰く「世はオートメーション時代と云うので宿題も分業で」とは……。

---

## 茶の間訪問

### 精神面の指導に苦心—野球部

### 荒木信先生

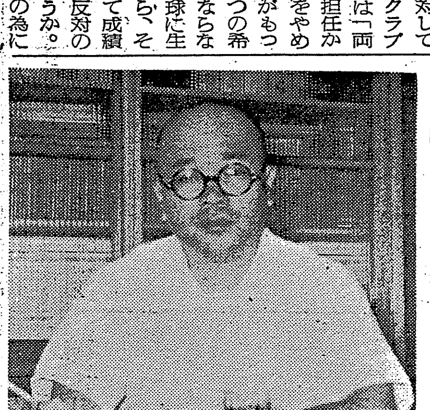
立秋も真近いある晴れた日、近鉄奈良線の彌刀（みと）駅にほど近い荒木先生の御宅を御訪ねした毎日自動車の騒音を耳にしている我々は、先生の御宅の静けさに、暑さも忘れ先生の想い出話その他いろいろなお話に親しいひとときを過した。

学生時代は「軍国主義の直前なので大変のんきで今と比べて非常に恵まれていた。書物も安いし、スポーツも盛んであった。今の学生は忙がしすぎるしあまりいろんなものが発達していて一つの事に心を集中出来ない様だ。今と昔の学生について[illegible]っていた。

先生は現在、[illegible]ーモニカ部の顧問をしておられるのでその苦心談などをお伺いしてみると「ハーモニカ部に於ては、前に西日本大会で三回も優勝するという歴史をもつ程で、苦心というものを知らない。しかし野球部では、顧問になってもう七年にもなるが自分で野球をやったことがないので技術面での指導は出来ない。だから精神面だけの指導なので言葉で言っても、わかってもらえない事が、しばしばある。苦心談といえばそれ位の程度である。」とのこと。〃雨で延びたあとの試合はどうの〃〃お守袋を忘れたので負ける〃といったことを絶対いわない様に即ち「ジンクスにとらわれるな！」ということをやかましく言っておられるそうだ。「今年は府予選で寝屋川が優勝した。府立でもこの様に優勝出来るのだから本校もこれを手本にしっかり頑張って頂きたい」と野球部員に対しての希望を一寸述べられた。クラブ活動と勉強の両立については「両立すると思う。よく父兄や担任から『成績が下るからクラブをやめさせてほしい。』といわれるがもってのほかだ。学生は常に一つの希望とかいきがいを持たねばならない。野球の好きなものは野球に生きがいを持っているのだから、それをやめてしまうと、果して成績が良くなるかというとその反対の結果になるのではないだろうか。又下ったとしても生きがいの為になら本望ではないか。」と言葉に段々熱がこもってくる。お話を聞いているうちに我々は先生のお人柄に引きこまれそうになる位だった。お子様は夏休みで田舎へ行っておられ留守で先生と奥様だけなので、よけいひっそりしていた。今の阿倍高生と前のそれと比べると今は、すべてスケールが小さいという感じだそうである。悪戯にしても前は師教や友達を〃あっ！〃と驚ろかす位の悪戯をしたが今は、小さなことを影でこそこそする者が多い様に思う。もちろん教師の立場から言えば今の方がやりよいが……。」

×　×

先生の趣味をお伺いすると「相撲——九才の頃から好きでね。私の父が又大の相撲好きで時々二人で人サボタージュしてよく見に行ったもので、まあ三度の食事より好きといったところ。」現在、大阪出身の島錦をひいきにしておられるそうだ。先生の二十貫という立派な体格は、さながら〃お相撲さん〃の様に見える。最後に先生と共に野球部がより強くなることを望んでやまない。



駸々堂の…………
受験参考書展
受験参考書は
第一会場（本店二階）へ
売切れぬうちにお早くお越し下さい
年中無休　午前九時—午後九時
大阪市南区心斎橋北詰
学生の店　駸々堂
電話大阪㉕八八一—五

万年筆なら
パイロット
万年筆の御用は
谷野商店
毎週　火・金曜両日
参上致します

生徒募集
新学期　九月九日より
受付中
交通に便利で広びろとしてゆったりとした中で充分お勉強が出来、小人数のクラス制で行届いた授業をしていますので実力がつくと喜こばれます
財団法人　ピチヨン洋裁学校
ヒル・ヨル
院長　徳山弘子
地下鉄昭和町駅前
電話(66)四三〇七番

創業明治二十九年
メガネ専門
6年の歴史と
眼鏡士による
眼鏡検定
眼鏡士　春木一郎
〃　春木実
〃　畠山喜之助
春木眼鏡店
心斎橋北詰㉕　381—
565